

男性料理教室 参加者募集中！



南阿蘇村食生活改善推進協議会では、健康づくりの啓発活動をおこなっています。

男性向けの料理教室を、下記日程において開催しますので、料理に興味のある人や料理初心者の人などたくさんの参加をお待ちしています。



前回の男性料理教室

- ★日 時：2月29日(木) 午前9時30分～午後1時
- ★対象者：村内在住の男性
- ★場 所：南阿蘇村保健センター(旧白水庁舎)
- ★講 師：食生活改善推進員
- ★持参物：エプロン・三角巾・マスク
- ★参加費：無料
- ★申し込み：2月22日(木)までに役場健康推進課へご連絡ください。

〈問い合わせ〉健康推進課 保健係 Tel0967 (67) 2704



ハートがたくさんの村づくり Vol.214

差別のない、人への思いやりを大切にする、明るい南阿蘇村をつくりましょう。

令和6年の幕開けの日、能登半島地震が発生し、多くのいのちが奪われ、大きな被害をもたらし、今も多くの人が避難生活を余儀なくされています。

これまでわが国では、阪神淡路大震災や東日本大震災、九州北部豪雨や平成28年の熊本地震、令和2年の7月豪雨などが発生し、いずれも地域に甚大な被害をもたらしてきました。

災害時は、被災したすべての人に人権問題が起きる危険性があります。特に高齢者、障がい者、乳幼児、妊産婦、外国人などの「避難行動要支援者」といった立場の人に起きやすいと言われています。

災害に襲われれば誰も自分のことで精一杯になってしまい、他人を思いやる余裕などなくなってしまいます。だからこそ、被災者の人権を守ることをいつも以上に意識しなければなりません。

防災対策や災害対応では「自助・共助・公助」という考えがあり、この3つが連携・協働することが重要と言われています。特に「共助」は、日々の暮らしの中でも大切なことであり、「共助」の意識を高めるには、人に対する思いやりの気持ちを持つことが重要です。人権意識を高めることが、「共助」の意識を高めることにつながり、さまざまな人権問題の解決にもつながっていくはずです。

災害は、いつ起こるかわかりません。

まずは、自分で、家族で、地域で、普段から、災害時における「自助」「共助」「公助」について考えてみましょう。自分の身の安全、自分の命を守る「自助」のために積極的に防災対策をはかり、いざ災害が発生した時に、人権の視点にたった「共助」が担えるように、人権意識を高めましょう。

※自助…「自分のいのちは自分で守ること」が防災の基本。

※共助…「家族だけでなく、隣近所、地域コミュニティ単位での助け合い体制を構築すること、助け合うこと。」

普段からのコミュニケーションが重要。

※公助…「行政による救助・支援のこと」

村民みんなで「ハートがたくさんの村」をつくりましょう。 総務課 人権政策係 Tel0967 (67) 1111